

Rotary Yachiyo



2024-25 年度国際ロータリーテーマ
「ロータリーのマジック」
2024-25 年度クラブテーマ
「互いに親しみ・広げよう交流と親睦」

週 報 第 2 7 9 2 回

2025年5月30日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：青少年交換プログラムを通しての成長

担当：青少年奉仕委員会

卓話者：青少年交換候補生

金杉旺汰君

次回例会

テーマ：引継ぎ委員会

担当：会長・幹事

◆◆◆第2791例会◆◆◆

司会 佐々木俊一

「我等の生業」「春の小川」 斉唱

会長挨拶

会長 安宅照男

八千代ロータリークラブ恒例例会行事で、5月15日、16日と大阪・関西万博親睦旅行に行ってきました。早朝にもかかわらず会員26名、事務局1名、計27名の参加でした。大阪・関西万博、なんばグランド花月、EXPO70太陽の塔等を見学してきました。

日本開催の国際博覧会は2005年の愛知県「愛・地球博（愛知万博）」以来、20年振りとなります。大阪での開催は2回目、1970年（昭和45年）の大阪万博以来、55年ぶりとなります。最先端の技術、国際的な文化交流の場としての魅力を感じました。各国のパビリオンでは、その国の歴史や未来への取り組み、人と人のつながりを象徴する展示が多くあり、未来に向けた希望を感じる内容でした。

日本ならではのおもてなしの精神が会場の至るところに見られ、来場者を温かく迎え入れる雰囲気醸成がなされていたところにも、誇らしさを感じました。

次に訪れたのは、なんばグランド花月です。吉本新喜劇をはじめとしたお笑いライブは、テレビで見るのとは違い、目の前で繰り広げられる芸人さんたちのやりとりに会場全体が笑いに包まれました。

長年にわたり第一線で活躍されている桂文珍さんの舞台を生で観るのは初めてで、円熟味とユーモアに圧倒されました。特に印象的だったのは、言葉の間のとり方と、表情の絶妙な変化で観客の想像力をかき立てる巧さ。派手な動きがなくても、話の世界にずっと引き込まれていく感覚は、テレビでは味わえない生の魅力でした。

最後に、万博記念公園「太陽の塔」の内部見学をしました。太陽の塔は1970年の大阪万博のシンボルとして、芸術家の岡本太郎さんによってつくられた高さ70メートルの巨大な塔で、以前は外から眺めるだけしかできませんでした。2018年に一般公開され、内部を見学できるようになったそうです。塔の内部には、「生命の樹」とよばれる巨大な造形。数種類の生き物の模型が枝に配置され、生命の進化の歴史を表現。原始的な微生物から恐竜、人類へとつながる展示には、不思議な感覚を味わわせて頂きました。

又、塔の内部には過去、現在、未来を表す3つの顔があるとされており、その思想もとても興味深く感じました。芸術でありながら、科学、哲学、歴史までも含んだこ

の空間は、こどもから大人まで多くの人に何かを訴えかけてくるように思います。太陽の塔は、単なるモニュメントではなく、未来へのメッセージが込められた場所。機会があれば、今一度訪れて、感動を共有したいと思います。

幹事報告

幹事 寺沢一三

- ・6月の例会は、引継ぎ委員会、委員会活動報告等がありますのでご準備の程、よろしくお願い致します。
- ・次年度のロータリー手帳が届きましたので必要な方は事務局へお声がけ下さい。
- ・米山記念館から寄付のお願いが来ております。

委員会報告

社会奉仕委員会

次年度委員長 佐野忠信

チャリティゴルフ開催のお知らせです。

日程：9/30(火)

場所：中山カントリークラブ

お祝い

結婚記念日：宮田会員



結婚記念日：先崎会員



他クラブ 6月例会日変更のお知らせ

習志野RC 25夜間移動例会

習志野中央RC 26夜間移動例会

八千代中央RC 10休会・24夜間例会

佐倉中央RC 18・25休会

四街道RC 3休会・24夜間例会

例会行事

国際奉仕委員会

委員長 橋本幹雄

度々の卓話となります。先週の親睦旅行中は、妻の誕生日でしたので、昨日は妻と都内に食事に行ってきました。渋谷の忠犬ハチ公の所は、外国人の方ばかりでしたが、思いの外、皆さん並んで順番に写真を撮っていました。

今日は、お手元に資料を配りましたので、ご覧下さい。

テーマ：世界3大奉仕団体について

卓話者：橋本幹雄会員



最初に、奉仕の本来の意味は、利益を目的とせず国家や社会や他人の為に私心を捨てて尽くすことであり、自主的、強制的を問わない活動一般と言われております。人間は、不思議なことに他人を助けるときに幸福感を得ることができるようです。何故ならば、「誰かの力になれた」ことによって自分が有能であることを再認識できるからであります。

そこで本日は、国際的に奉仕団体と認知される代表的な三つの組織について比較検討してみたいと思います。

ロータリークラブ、ライオンズクラブ、キワニスクラブの3つとなります。3つのクラブの違いを説明したいと思います。

1番古いのが1905年創立のロータリークラブ、2番目は1915年のキワニスクラブ

です。ライオンズクラブは1917年創立ですが、ロータリークラブから派生して出来たクラブですので、最後の創立という事になります。

【基本的な理念】

ロータリークラブ：I Serve わたしは奉仕する。あくまでも会員個人が自主的に奉仕する事が原点。

ライオンズクラブ：We Serve 我々は奉仕する。個人ではなく団体の力で奉仕する。

キワニスクラブ：Young Children Priority One まず子どもを第一に考えよう。子どもを大事にするという事から始まったクラブ。

【会員構成】

ロータリークラブ：一業種一社。

ライオンズクラブ：善良な特性の持ち主で地域社会で声望を得ている成人。

キワニスクラブ：企業経営者や会社員、公務員、主婦、弁護士、医師、大学教授と様々な職種の人々が参加。

【沿革】

ロータリークラブ：2001年の定款及び細則の改定により、一業種一社を廃止、人数5人、または割合10%に変更。例会出席規定も緩和。入会時点で、議員は新入会不可。様々存在した「たが」が無くなる事で、ライオンズクラブ、キワニスクラブとの差別化が無くなっていくのではないかと。

【女性会員】

設立時の定款には「男性会員」の記述があり、女性の入会は認められていなかったが、1989年2月の規定審議会で、ロータリアンとしての資格を備えた人なら、男女の差なく入会が可能となりました。

1987年2月にライオンズクラブ、キワニスクラブは女性会員入会が認められました。

今後、団塊世代の会員が居なくなった時には、若い世代の会員の方が方向を決めて行けばよいのではないのでしょうか。

「徒然なるままに リタイアメントの思考錯誤」パート2

サラリーマン時代13年半(22歳～36歳)、独立自営を34年半(～70歳)、リタイア生活4年(71歳～)を経験して来てつくづく考えるに、私と言う人間は自分の思いに反して、既存の組織の中ではなかなか中心的存在にはなれないようだ。

私のサラリーマン時代は、学生気分が抜けず「正論を吐くこと」と「上に噛みつくこと」を混同していた時代だったような気がする。私は後輩から好かれる男であったと自負するが、目上の者からは疎まれる男でもあったようだ。

独立後、かなりの年月が経った頃、ある寿司屋でサラリーマン時代の上司と酒を飲み交わす機会があった。その当時、我が同期の某氏がバブル時期に退職し独立したがうまくいかず、復職していた。その彼はその後退職復職を繰り返し後輩の輩を輩かっていたと私は風の噂で聞いていた。その某氏の復職に尽力したのがこの上司であった。

そこでこれを機会にこの元上司に聞いてみた。

「先輩は嘗て自分の下にいた奴だとは言え、何故、そんなにも彼の肩を持って、復職に力を貸したんですか？」と、

「橋本な～、すり寄ってくる奴は、可愛いんだよ」と元上司の返答。

この時初めて気が付いた。彼にあって私に無かったものを。「人間万事可愛気(かわいげ)」が大事。一言で言えば、「私は可愛気のない奴」だったのだ。

どんなに頭脳明晰でも努力家でも「可愛気」のある奴にはどうやっても敵わない。トンマでも毒を吐いても「可愛気」があればいい。と、高田文夫も言っている。

「僕らが商売をやっている、理屈をそのまま応用すると確なことはない。かえって逆効果である。人間と言うものは理屈を自分で言うときは非常に愉快であるけれど、相手から同じ理屈を聞くのは非常に不愉快である。」(出光 佐三)ように、私の欠点は、「可愛げの無さ」と「理屈営業」であった。

それともう一つの教訓がある。

「橋本、お前が先頭に立って新規の営業所の成績を上げてくれないと営業所の存続はないからな！」

この言葉を信じて自分で言うのはばかれますが、自分なりに頑張ってトップの成績を上げていた。しかし、現実の人事評価は最低のままであった。

ひとは仕事を任されていると自分が信用されていると勘違いしがちである。だが、単に利用されているだけのことと言う冷たい現実を認識させられた。

この先出世の見込みがないと宮使いの身に見切りをつけ、独立し不動産業を開業した。

どんなに気に食わなくて嫌な奴でも、いる者はいるのが現実であり勝手に排除など出来ない。そんな時は、いくら飲んでも酔わないヤケ酒に「嫌な風もあらうに 柳かな」と気を紛らわすしかなかった。

また不動産不況の経済状況の中で独立後、千葉県ではほんの2、3年間のバブル景気を経験し、バブルが崩壊して金融機関の貸し剥がしの波に翻弄され、同業の知り合いの社長連中が13人も排気ガスや首つり、そして、焼身自殺に追い込まれ鬼籍に追い込まれた。そして、その後失われた20年から30年間に私も無い知恵を振り絞って凌いできた。

独立時代を一言で言うならば、「勝つために手段を択ばない。」もあり、「勝つために手段を選ぶ。」もありと直面する問題に胃が痛くなる思いで思考を重ねて、「自分の生きざままで、他人様(ヒト)を黙らせる。」と気負っていた時代でもあった。気がする。

そのバブルの後遺症か、20数年を経過した頃からかバブルを凌いで来た社長たちが本物の癌などを発症して体調を崩し、鬼籍に追いやられた。そんな中で、私も体調に陰りを感じるようになりました。

私が出社を自主閉業した最大の原因は、懇意の医者から心臓の雑音を指摘され精密検査の結果、2015年10月に心臓の僧帽弁及び三尖弁の閉鎖不全、心房細動、そして心臓肥大の4か所の同時手術を受けるはめとなった。

その2年半後の2018年11月に、心臓の大動脈弁の生体弁の交換手術を再度受けるに至った。このような身体的状態では顧客に対する業務が全う出来ないと、肉体的限界を感じた純粋なる健康上の理由であった。

ロータリーの会員になってから、20年物の痔の手術で異例の1か月余入院5度の

近隣クラブ例会日		例会場
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフ倶楽部
火曜日	八千代中央R.C	ウィシントンホテル・ユーカリ
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館
水曜日	佐倉中央R.C	ウィシントンホテル・ユーカリ 最終オリベート夜間
木曜日	佐倉R.C	佐倉商工会議所
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館

■クラブ広報委員会 委員長：菊川秀明 副委員長：佐久間勇治

■欠席の際は必ず月曜日迄に事務局に連絡して下さい

■例会日：金曜日 12:30～13:30

■例会場：パッツ・ノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F:FAX047-450-0050)

手術、前立腺癌の重粒子施術で入院、そして前述の2度に渡る心臓の入院生活を経験し、その度に会員の皆様に見舞金を頂きながら期待に反して生還するものですから、付いた渾名(あだな)が、「見舞金詐欺師」と呼ばれております。

人間の精神や考え方や行動様式は、いくら年を重ねても進化などせず、その根本は何ら変わらないものである。俗に言う「三つ子の魂百まで」であり、実に保守的な生きものである。私の場合は、高校時代から精神的なものや性格は、ほとんど進歩していないようです。

我が人生で経験上得た教訓は

「来て見れば聞くより低し富士の山 釈迦も孔子もかくやあるらん」(狂歌) 何事も誇張が多いものだから、実地に見るとがっかりすることがよくある。と言うことである。

最期にリタイアメント生活で願うことは、

「天意夕陽(ゆうよう)を重んじ、人間晩成(ばんせい)を貴ぶ」(古人の句) 若い時に欠点のあった人でも、晩年が美しければ、その人の価値が上がるものである。

～ニコニコBOX～

¥35,000-

☆改めて確認しました。

29年経っていました。 先崎

☆結婚記念日忘れていました。

60年にもなります。 宮田

☆橋本会員卓話よろしくお願い致します☆
安宅・上村・永田・中島貞好・鈴木健治
君塚・佐久間・花島・稲山・江頭・遠藤
山崎・宮野・中村・池田・菊川・朝戸・山浦
☆親睦旅行ありがとうございました。

上代・中島仁・石渡・植村・伊藤

☆旅行お疲れ様でした。 飯生

☆お土産ありがとうございました。 小村

～友愛BOX～

¥1,000-

麗澤瑞浪そらちゃんゴルフ優勝万歳 佐野

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
5 / 23	5 5	5 1	4 1	80.39

5月のロータリーレート 1ドル¥142-